

社会人新能力構築支援プログラム

New Expertise Training (NExT) Program

説明会

平成28年6月3日(金)13:00~
URL: <http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/next/>

東京大学生産技術研究所

生産技術研究所とは

生産技術研究所とは

東京大学

15大学院研究科・10学部

11研究所 (IISを含む)



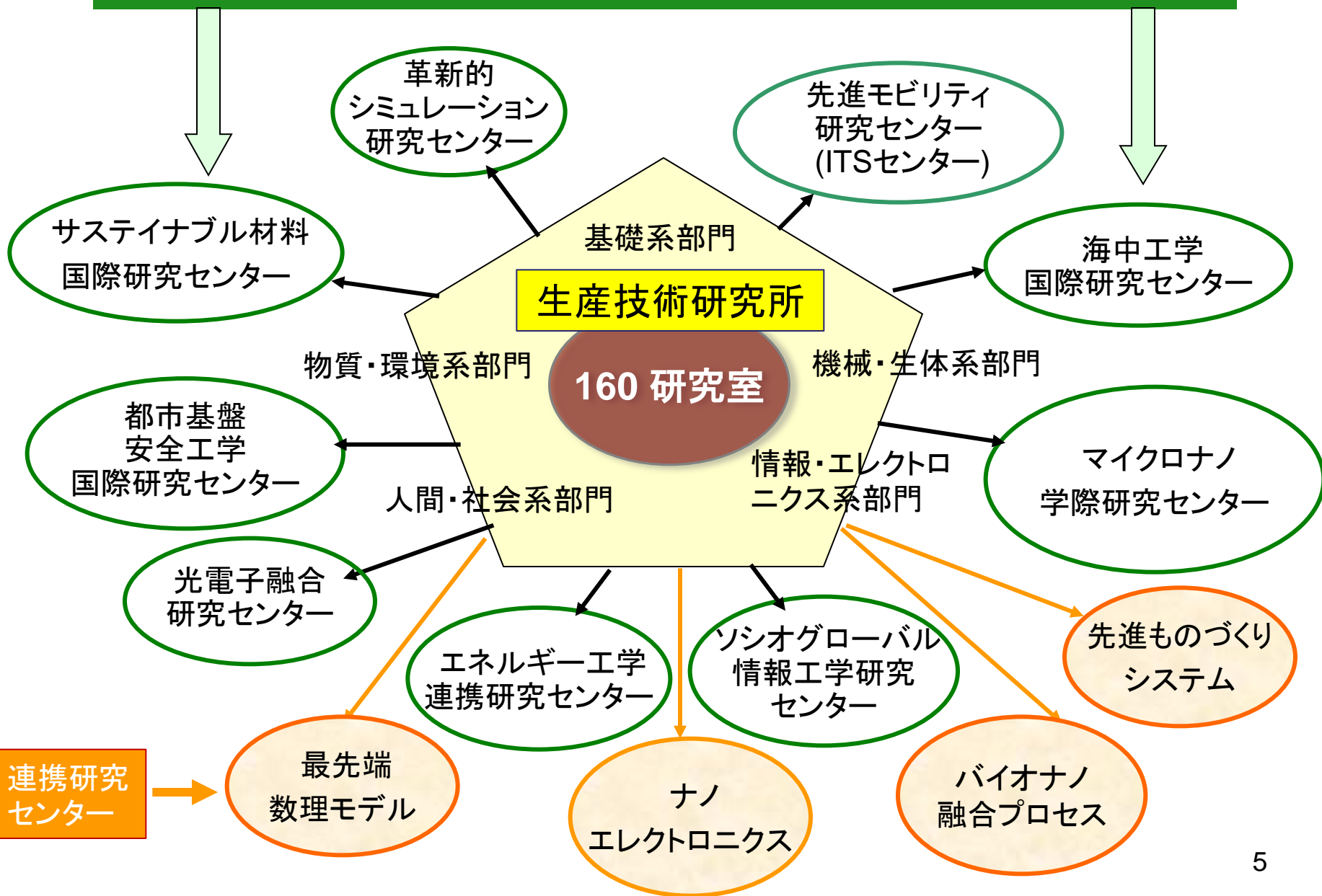
生産技術研究所 *1949年創立 *日本で最大の大学附置研究所

- 160研究室（独立して研究を推進、必要に応じて連携）
 - 5 研究部門(基礎研究) + 1 客員部門 + 1 大規模複雑システムマネジメント部門
 - 9 研究センター(プロジェクト研究)
- 4連携研究センター（大型外部資金、外部との連携）
- 1国際連携センター（LIMMS）
- 3寄附研究部門
(先端エネルギー変換工学、非鉄金属資源循環工学、ニコンイメージングサイエンス)
- 3社会連携研究部門
(建物におけるエネルギー・デマンドの能動・包括制御技術、モビリティ・フィールドサイエンス社会連携研究部門、炎症・免疫制御学社会連携研究部門)

生産技術研究所とは

- ◆ 基礎系
 - ◆ 機械・生体系
 - ◆ 情報・エレクトロニクス系
 - ◆ 材料・環境系
 - ◆ 人間・社会系
- 物工、建築・土木、物理
機械、精密、海洋、バイオ
電気、電子、情報・通信
マテリアル、応用化学
建築、土木
- ◆ センター
 - マイクロナノ学際研究センター
 - ソシオグローバル情報工学研究センター
 - エネルギー工学連携研究センター
 - 光電子融合研究センター
 - 都市基盤安全工学国際研究センター
 - サステイナブル材料国際研究センター
 - 海中工学国際研究センター
 - 先進モビリティ研究センター
 - 革新的シミュレーション研究センター など

研究部門とセンター



生産技術研究所とは

<生研の特長>

- ・工学部の約1/3のサイズ(160研究室)だが、ほぼすべての工学分野をカバーしている
- ・1つの研究棟に様々な分野の研究者がいる



<可能な研究・教育>

- ・従来の学問領域にとらわれない異分野融合研究
- ・世界をリードする学術研究
- ・社会や産業界の要請に応える総合研究
- ・on-the-research trainingによる大学院教育
- ・世界的な研究拠点と連携

社会人新能力構築支援プログラム

New Expertise Training (NExT) Program

NExTプログラム設立の背景

急激な産業構造やビジネスモデルの変化



企業のエンジニアがこれまでに培ってきた
技術だけでは対応できない状況

これまで日本産業を牽引して
きた花形分野が危機に瀕する

該当分野の極めて優秀な人材の雇用危機

単に高度な技術を追求するだけで
なく、ソリューションの提示が必要

ビジネスチャンスの逸失



新しい事業展開や融合的事業のスタートに向けて、

- ・新しい分野の学習
- ・技術シーズの調査
- ・異分野技術に関する洞察力の涵養

など、企業のエンジニアが新たな能力を構築するための教育的支援が必要

NExTプログラム設立の目的

<生研の特長>

工学の全分野を包括するとともに、
分野横断的な連携研究を推進しているユニークな研究所



<育成を目指す人材>

- ・社会的課題を解決する広範囲の最先端技術を習得し、研究リーダーとなる人材
- ・第二の専門分野を構築し、異分野融合イノベーションを提案・牽引する人材
- ・最先端プロジェクトの基本を学び、研究の統括ができる人材

NExTプログラムのコース内容

2つの受講パターンを提供しています

(1) 調査研究コースA : 4月1日または10月1日より1年間

(2) 調査研究コースB : 4月1日または10月1日より6ヶ月間

(1) 調査研究コースA(1年間の調査研究)

4月入講者

4月	9月	10月	3月
入講式	WS		WS 修了式
研究室での活動	研究室での活動	研究室での活動	研究室での活動

10月入講者

10月	3月	4月	9月
入講式	WS		WS 修了式
研究室での活動	研究室での活動	研究室での活動	研究室での活動

- ・ 約160の研究室から2～4の研究室を選択して所属し、指導教員のもと調査研究を行う
- ・ 学習の進捗状況について週間報告書を作成し、教員から指導を受ける
- ・ 調査研究・学習にあたり、メンターがつく
- ・ 合宿ワークショップまたは所内ワークショップに参加する

(2) 調査研究コースB(6ヶ月間の調査研究)

4月入講者

4月	9月	10月	3月
入講式	WS 修了式		
研究室での活動	研究室での活動		

10月入講者

10月	3月	4月	9月
入講式	WS 修了式		
研究室での活動	研究室での活動		

- ・ 約160の研究室から1~2研究室を選択して所属し、指導教員のもと、調査研究を行う
- ・ 学習の進捗状況について週間報告書を作成し、教員から指導を受ける
- ・ 調査研究・学習にあたり、メンターがつく
- ・ 合宿ワークショップまたは所内ワークショップに参加する

配属研究室での活動

■ 期首面談

テーマと方向性、調査研究の方法の確認

■ 研究活動

- ・ 指導教員との面談
- ・ 調査活動、実験等の見学
- ・ シミュレーションなどの実習
- ・ レポート作成
- ・ 関連する他研究室見学

■ 期末発表

研究室内での期末発表

ワークショップ

- 受講生による発表
- 外部講師による講義・演習
- 意見交換会
(参加企業の上司の方にもご参加
いただけます)



修了検定

■プログラム受講期間における調査研究をふまえた報告

- ・異分野融合によるイノベーションの提案
- ・課題解決に関する新規提案 など

■公開・非公開を選択可



募集要項

- 定員 若干名
- 受講料 調査研究コースA 200万円(税込)
調査研究コースB 100万円(税込)
- 受講対象者 主体的に学習できる技術者・研究者等
- 出願締切日 2016年10月入講 2016年7月21日(木)
2017年 4月入講 2017年1月18日(水)